

令和 7 年度

地域連携事例集

令和 8 年 6 月

財務省関東財務局



関東財務局公式マスコット
いつときゅん大



地域と歩み、希望ある社会を次世代へ



地域連携事例集は
こちらからもご覧いただけます ⇒



目次

関東財務局と地域連携

関東財務局について	1
関東財務局の地域連携について	3

地域連携事例

地域連携の取組事例 目次	4
1 財政に関する取組	6
2 国有財産に関する取組	9
3 金融に関する取組	11
4 地域経済調査に関する取組	16
5 広報・相談に関する取組	17
6 経済安全保障に関する取組	22
7 地域課題に関する取組	23

- 関東財務局では、「地域と歩み、希望ある社会を次世代へ」とのスローガンを掲げ、各種業務に取り組んでいます。
- 本事例集では最初に、関東財務局が取り組んでいる「地域連携」について説明した後、令和7年度に実際に取り組んだ主な個別事例を紹介します。
- 本事例集に関するお問い合わせ先は、関東財務局 総務部総務課 地域連携推進係（048-600-1078）です。

関東財務局について

管轄



—凡例—

◎ 本局

● 事務所

△ 出張所

経済の中核機能や産業が集中し、大規模な国有財産が多数存在する関東甲信越

地区の1都9県を管轄しています。

財政、国有財産及び金融に関する諸行政を実施するとともに、各地域の経済情勢や意見等を把握して財務省・金融庁の施策に反映させています。

業務

1 財政

適正かつ効率的な予算執行の確保(予算執行調査等)
地方公共団体への財政融資資金の貸付
災害復旧事業の査定立会

2 国有財産

国有財産の有効活用のための総合調整
税外収入確保のための国有財産の管理処分
地域や社会に貢献する国有財産の有効活用
災害分野への国有財産の有効活用

3 金融

地域金融機関等の検査・監督
金融仲介機能の発揮に向けた取組
金融商品取引等の監視
金融犯罪被害防止に向けた取組

4 地域経済調査

地域経済情勢等の調査
地域の意見・要望を本省庁に伝達、地域へ情報を提供

5 広報・相談

財務省及び金融庁の重要施策等の広報活動
各種団体の会合・学校・研修会等への講師派遣
多重債務者相談、金融経済教育

6 経済安全保障

外国投資家による投資等に関する相談対応や情報提供の受付
対内直接投資審査制度の周知活動
経済制裁の実施状況に係る地域金融機関等の検査

7 地域課題への対応

政策金融機関との連携
災害に関する取組
地方創生支援に関する取組

関東財務局について

財務局の使命と目指す職員像

財務局の使命

わたしたち財務局は、地域に根差し、財政や国有財産、金融等に関する施策を実施します。その際、地域と連携しつつ、組織としての総合力を発揮して、地域貢献に取り組みます。

さらに、財務省と金融庁の施策を広報するとともに、地域の声や経済の実態を本省庁に伝達し、効果的な施策の形成に寄与します。

こうした取組を通じて、地域経済、ひいては我が国経済の健全な発展に貢献し、安心して豊かな社会の実現を目指します。

目指す職員像

財務省・金融庁と地域のつなぎ役となり、国・地方の双方に貢献する高い志を持って職務に取り組みます。その際、現場に足を運んで地域の実情及びニーズを的確に把握し、地域への貢献を通じて、国民の信頼に応えます。

社会経済情勢の変化に的確に対応できるよう、財政、国有財産、金融、経済等の職務に必要な専門知識と幅広い見識を深め、学び続ける姿勢を大切にします。

財務局の使命と目指す職員像

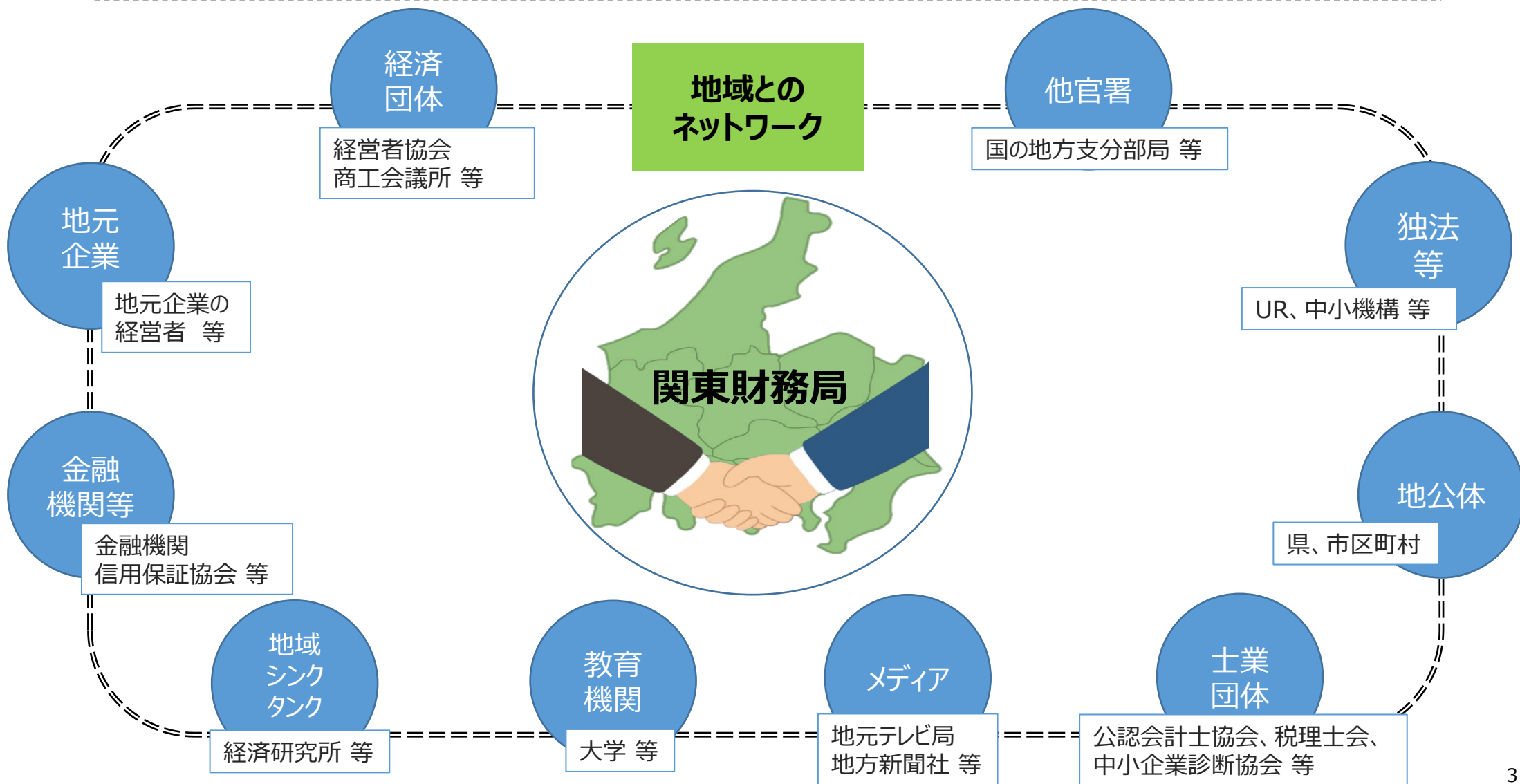
地域経済、我が国経済の健全な発展に貢献し、安心して豊かな社会の実現を目指す



関東財務局の地域連携について

地方創生支援に向けた地域連携ネットワーク

財務局が地域の各主体と連携し、地方創生支援に取り組むためには、組織同士でのネットワークを活用することが重要です。



地域連携の取組事例 目次

事 例	頁
1 財政に関する取組	
地方公共団体向け課題解決型勉強会	6
地方公共団体向け脱炭素の取組にかかる勉強会	7
地方公共団体の財務状況に関する勉強会	8
2 国有財産に関する取組	
立川まちづくり会議	9
立国LEADERプログラム	10
3 金融に関する取組	
有価証券報告書レビュー解説セミナーの開催	11
地域金融機関向けデジタル化・DX支援セミナー	12
地域金融機関各層に向けた事業者支援推進の取組	13
信用金庫・信用組合のDX促進に向けたイベントの開催	14
金融犯罪被害防止のための取組	15
4 地域経済調査に関する取組	
経済調査レポート	16

地域連携の取組事例 目次

事 例	頁
5 広報・相談に関する取組	
財政教育プログラム	17
子育て世代向け講座	18
金融リテラシーの普及・向上のための取組	19
将来の金融経済教育の担い手育成	20
小学生向け「体験型」金融経済教育を実施 ～第7回「親子で学ぶ！お金のバスツアー」～	21
6 経済安全保障に関する取組	
「経済安全保障政策」を推進する取組	22
7 地域課題に関する取組	
関係機関と連携した地域企業の人材課題解決に向けた取組	23
地域活性化サロンの開催	24
富士見市若手職員研修への当局職員の派遣	25
空き家・空き店舗対策に係る事例共有会	26
自動車サプライヤー支援に向けた勉強会	27
経済財政に関する山梨コンファレンス	28
長野県中小企業家同友会・金融機関連携協議会の取組	29

地方公共団体向け課題解決型勉強会

地方公共団体との意見交換等を通じて把握した地域課題の解決への取組支援として、公共施設マネジメント等をテーマとした勉強会を関東財務局及び財務事務所で開催。

概要

○関東財務局
先進的な公共施設マネジメントを実践する団体による事例紹介、民間有識者から公共施設に係る計画を実践するうえでのポイント等について講義を実施。



【講義資料】

○宇都宮財務事務所
栃木県との共催により、過疎対策事業債を有効活用した地域振興策の手法について、国土交通省、先進団体及び民間有識者から紹介。



【勉強会の模様(オンライン)】

○甲府財務事務所
山梨県との共催により、公共施設マネジメントをテーマに、県及び民間有識者等による講義や意見交換、ワークショップを実施。



【ワークショップの模様】

取組の成果

○具体的事例の共有を通じて、各地方公共団体における今後の計画立案や財政運営に向けた検討材料を提供。

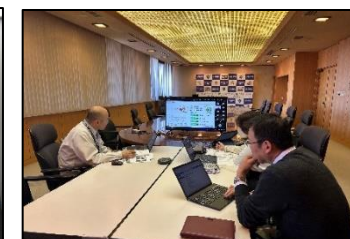
○各勉強会の参加団体数
関東財務局 … 関東財務局管内26団体
宇都宮財務事務所 … 栃木県内6団体
甲府財務事務所 … 山梨県内12団体

(参加者からの声)

- ・他の団体の先行的な事例を聞くことができ業務の参考になった。
- ・当市で課題となっている公共施設等総合管理計画の進捗管理方法について、他団体の具体的な事例を学ぶことができ、大変有益であった。



【当局配信会場の模様】



【オンライン参加団体の模様】

地方公共団体向け脱炭素の取組にかかる勉強会

管内(関東甲信越)の地方公共団体(30団体)を対象に脱炭素の取組にかかる課題解決や情報の共有を目的とした勉強会を開催。

概要

- 地方公共団体(以下「地公体」という)は、「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき、脱炭素の取組を進めるとされている。
- 昨年度に引き続き、地公体に対して実施した財務状況把握ヒアリング等を通じて、地公体が脱炭素の取組に課題を抱えていることを把握。
- 当局のネットワークを活用し、関東経済産業局、関東地方環境事務所、埼玉県入間市、神奈川県相模原市と連携のうえ、勉強会を開催。
- 参加対象について、昨年度は埼玉県内の地公体(5団体)に限定したが、今年度は当局管内(1都9県)の地公体に拡大(30団体が参加)。

【開催日】

令和7年5月13日(火)

【開催形式】

さいたま新都心合同庁舎からWEB配信

取組の成果

- 勉強会には地公体の様々な部署から担当者が参加。参加者同士で活発な意見交換を実施。
- 関東経済産業局、関東地方環境事務所より国の取組と支援策について説明。埼玉県入間市、神奈川県相模原市から市の取組事例を紹介。
- 本勉強会を通じて各種支援策の周知や地公体間の情報共有等、地公体が抱える課題解決の一助になった。

(参加者からの声)

改めて、カーボンニュートラルやGXの意義、さらに地域脱炭素に向けた具体的な取組について、体系的に理解を深めることができた。

【会場の様子】▶



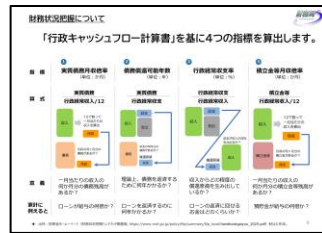
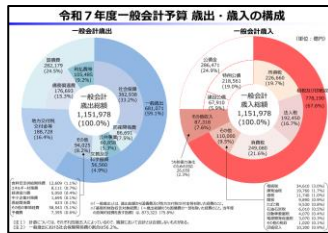
地方公共団体の財務状況に関する勉強会

地方公共団体へのヒアリング等を契機として依頼を受け、職員向けに財務状況に関する勉強会を開催。

概要

○茨城県牛久市

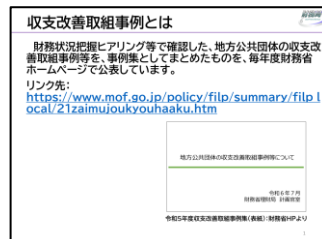
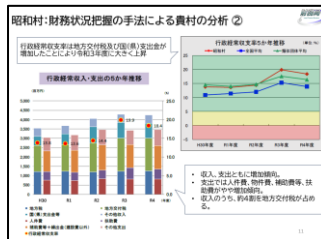
主に若手職員を対象に、日本の予算制度の概要や財政状況を説明。また、同市の財務状況について、近隣団体との比較等を通じた分析内容を解説。



【講義資料】

○群馬県昭和村

村役場職員を対象に、同村の財務状況の特徴等について説明するとともに、人口減少や公共施設の老朽化等の課題を踏まえた今後の財政見通しや収支改善取組事例を紹介。



【講義資料】

取組の成果

○勉強会には財政部門だけでなく、事業担当課職員も幅広く参加。自団体の財務状況を客観的にとらえる機会を提供したことで、各担当分野における課題意識の醸成に寄与。

(参加者からの声)

- ・日本の財政に関して、自分が携わる管理栄養士の業務は、医療費・介護費の抑制にもつながると思う。仕事の根拠や目標などを意識して業務を行っていきたい。
- ・団体を今後も存続させていくうえで、予算編成等の際に市の将来を意識するべきだと感じた。

【勉強会の模様】



(茨城県牛久市)



(群馬県昭和村)

立川まちづくり会議

関東財務局と立川市役所の若手職員が、まちづくりについて学ぶとともに、フィールドワークや自由闊達な意見交換を通じ、立川市内の未利用国有地の活用案を検討。

概要

- 立川市との関係性の深化と若手職員の提案力の向上を目的として、積年の課題となっている立川市内の大規模な未利用国有地の活用をテーマに、令和5年度から継続実施。
- 今年度は立川市泉町の未利用国有地について「30年後に周辺の地域環境に融和している施設」をテーマに活用案を検討。
- 関東財務局と立川市役所の若手職員計13名が3グループに分かれ、フィールドワークや意見交換を行いながら活用案を検討。URからの出向者や近隣の市役所の協力も得て、まちづくりについての実践的な知識習得を目的とした公共施設の現場視察等も実施。



【意見交換の様子】



【現場視察の様子】

取組の成果

- フィールドワークの結果や人口動態データなどの分析に基づき、地域の強み・弱みを整理して検討を行い、活用案を作成。それぞれのグループから「アクティビティ・ハブ東京多摩」「医療・介護・健康・防災のワンストップ型拠点」「都市型アグリ複合拠点」としての活用案を提案。



【活用案の発表の様子】

【参加者の声】

- 通常業務で関わることのない他機関職員と共に課題を検討していくことによって、様々な知見が広がった。
- 立川市のことやまちづくりについて主体的に調べるきっかけになり、大変勉強になった。
- 未利用地の活用は立川市だけでなく多摩エリアの新たな魅力の創出に必ずつながるため、今後も注目していきたい。

立国LEADERプログラム

東京都立立川国際中等教育学校が実施している「立国LEADERプログラム」に地元提携団体として参加。

概要

- 東京都立立川国際中等教育学校では、国際的なリーダーになるための土台を形成する取組として、地域提案型探求「立国LEADERプログラム」が実施されている。対象となる中学2年生が、地元提携団体の協力を得て、提示された企業等の課題解決にチャレンジするもの。
- 同プログラムに、地元提携団体として参加。「地域活性化のため国有財産の活用法を考えよう」を大テーマに、立川市に所在する「未利用国有地の最適利用について」をチャレンジ課題（小テーマ）として設定。
- 当出張所の若手職員が中心となり、導入として財務局業務や国有財産の概要を講義。生徒への現地説明、オンラインによる質疑応答やアドバイスを通じて、生徒の探究活動をサポート。



【講義の様子】



【現地説明の様子】

取組の成果

- 5名の生徒がグループとなり、半年以上に亘って、国有地の周辺環境の分析や類似事例の収集を行い、当出張所職員のサポートを受けながら探求活動を実施。
- 最終発表会では、生徒から当出張所に対し、具体的かつ斬新な活用案が提案され、校内成果発表会にも選抜。
- 地域（中学校）からの要請を受け、全面的に協力することで、取組の成功に貢献したものの。



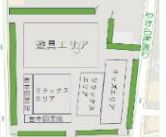
【最終発表会の様子】

③設定した課題

周辺の土地や施設を活かした、誰でも利用でき、地域の方々が交流できる場所を作る



広場のイメージ図



【生徒が作成した資料】

有価証券報告書レビュー解説セミナーの開催

管内の上場企業(有価証券報告書提出会社)を対象に、より良い企業情報の開示に向けた実務の工夫と改善ポイントの共有のためセミナーを開催。管内の上場企業における企業情報の開示の充実に寄与。

概要

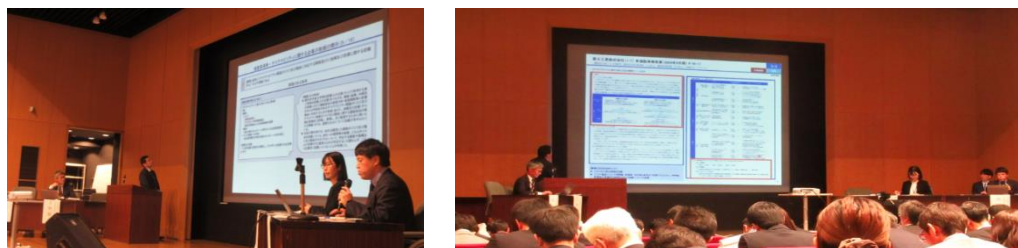
- 金融庁が公表した有価証券報告書レビューの審査結果を踏まえ、有価証券報告書の「**サステナビリティに関する企業の取組の開示**」に焦点を当てた解説セミナーを開催。
- 当セミナーでは、関東財務局の審査担当者によるレビュー結果等の解説のほか、望ましい開示を行っている企業4社より各社の実例を通じた問題意識・工夫等を紹介。

【日 時】令和7年4月11日（金）14～16時

【場 所】さいたま新都心合同庁舎1号館講堂

【参加者】関東財務局に有価証券報告書を提出している上場企業

【内 容】令和6年度有価証券報告書レビュー結果の解説
企業プレゼンテーション



【セミナーの様子（関東財務局の審査官から開示のポイントを説明）】

取組の成果

- サステナビリティ情報の開示（人的資本や気候変動等）をテーマにしたセミナーは全財務局でも**初の開催**となり、**97団体・148名**が参加。新聞等でも報道。
- 日本公認会計士協会の地域会（管内における四会）に対しても、各協会ウェブサイトへの応募リンクの掲載を依頼したほか、セミナーへの出席を得るなど、管内関係団体との連携の機会を積極的に創出。
- 人的資本等のサステナビリティ情報の開示を行うことが、企業に人材、技術、資金などを引き付ける源となることを強調し、管内の上場企業に**開示の充実**を通じた**地域経済の持続的な発展**を促進。

【参加者の声】

- サステナビリティ開示の具体的な記載や、ストーリー性をもった記載への重要性を理解することができた。
- 非財務情報の記載は、自社だけの検討では難しい部分もあり、このようなセミナーは有益だと感じた。
- 財務局の社会・地域への貢献という観点での開示の充実という発言に対し、企業において開示の一端を担う者として感銘を受けた。

地域金融機関向けデジタル化・DX支援セミナー

デジタル化・DX及び設備投資による付加価値や労働生産性等の課題を抱える事業者に対する地域金融機関による実効性のある支援をサポートするため、関係機関と連携し、当該セミナーを初めて開催。

概要

- デジタル化・DX及び設備投資による付加価値や労働生産性の向上が、地域企業にとって重要な経営課題となっている。
- 関東財務局は、**監督を通じて把握した**地域金融機関の取組状況や**支援機関との意見交換**を踏まえ、より一層の支援を後押しすべく、**関東経済産業局や中小企業基盤整備機構関東本部**と連携のうえ、令和8年2月に当該セミナーをオンラインで開催。

地域金融機関

- ・ 組織内外の連携が不足
- ・ DX支援人材が不足

支援機関

- ・ 支援施策の活用を期待
- ・ 支援が届いていない可能性

関東財務局

企画・立案

イメージ

金融庁

- ・ デジタル化・DX支援の必要性
- ・ 地域銀行の取組事例紹介

関東経済産業局

- ・ DX推進の現状と課題を解説
- ・ 国のデジタル化・DX関連施策紹介



地域金融機関

中小企業基盤整備機構関東本部

- ・ 中小企業の経営課題と解決手法を解説
- ・ 各種支援施策紹介

デジタル化・DX支援

地域企業

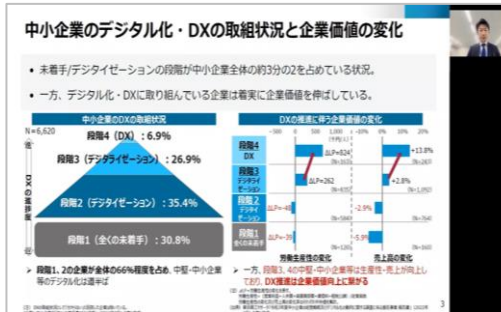
金融

取組の成果

- 関東甲信越及び静岡県に本店を有する地域金融機関(計95先、142名)が参加。※登録者ベース

【参加者の声】

- ・ 地域金融力強化プランを踏まえ、地域金融機関におけるDX支援の必要性、重要性を再認識した
- ・ 当日の事例発表のあった地域銀行・信用金庫・信用組合の取組事例を知る機会となり参考になった
- ・ 取引先に紹介できる支援策の内容を確認することができた
- ・ 中小企業における現状の課題や、将来的に発生し得る諸問題の解決策等も含め、重要なヒントを得られた



【セミナーの様子 (PC画面)】

【セミナー配信会場の様子】

地域金融機関各層に向けた事業者支援推進の取組

地域金融機関の階層別(トップ層、専門担当者、営業店若手職員)では抱える課題等が異なるため、当局では、継続的に各層の課題に応じた取組を実施し、地域金融機関における事業者支援の取組を後押し。

概要

- 人手不足や後継者不足、経営改善への対応など複数の課題を抱える中小企業に対し、**金融機関による支援が以前よりも重要。**
- 関東財務局では、地域金融機関のトップ層、専門担当者（本部コア人材）、若手職員それぞれが抱える課題や要望に応じ、**継続的に関係機関と連携したセミナー・勉強会**を開催。

関東財務局

連携

支援機関・行政機関

↓ セミナー・勉強会を通じて後押し

地域金融機関の各層

事業者支援を推進するうえでの課題

トップ層

専門担当者
(本部コア人材)

各営業店の若手職員

早期の支援着手

- 態勢構築、取組方針の明確化
- 実践的な支援スキル・ノウハウの取得
- 外部機関との連携強化
- 基本スキルの向上

↓ 支援

事業者

金融

取組の成果

- 取組を通じて、地域金融機関と地域の関係者の連携を促し、**地域全体で中小企業を支える体制を強化。**
- 地域金融機関の多くが課題として抱える「**人材育成**」に寄与。

【当局幹部による対話】 トップ層向け

○各種機会を捉え、更なる取組を促す対話を、**継続的に**実施。

【事業者支援スキルアップゼミ】 専門担当者向け

○M&Aを含む事業承継をテーマに、グループディスカッションを中心とした定期的な勉強会(4回)を、**継続的に**開催。

【事業者支援オンデマンドセミナー(第5期)】 営業店若手職員向け

○各支援機関・行政機関と連携し、複数の課題を抱える中小企業の状況を踏まえ、コンテンツを拡充し、YouTubeにて、**継続的に**配信。



【事業者支援スキルアップゼミ】



【オンデマンドセミナー】

信用金庫・信用組合のDX促進に向けたイベントの開催

金融機関においても人手不足が課題となる中、業務効率化やDXにより、地域社会への貢献に取り組むリソース確保などのために、DX推進を後押しすることを企図し、東京活性化サロンを開催。

概要

- 信用金庫・信用組合における人手不足の課題解決に向けてDXの推進は有効な手段の一つ。
- しかしながら、**全ての金融機関において、DXが順調に進んでいる状況ではなく、進め方に悩んでいる金融機関も存在。**
- DXを推進することによる効果や既にDXに取り組んでいる金融機関からの事例紹介、専門家の講演を講義形式で行い、その後は講演者と所長によるパネルディスカッションを実施。

【開催日】

令和7年10月24日(金)

【講義内容】

- 株式会社野村総合研究所 山田 彰太郎氏
「決算書データが拓く事業者支援の未来」
- 朝日信用金庫 三澤 敏幸氏
「朝日信用金庫における業務改革取組事例」
- 金融IT協会 山口 省蔵氏
「金融IT協会の紹介と金融業界のDX」

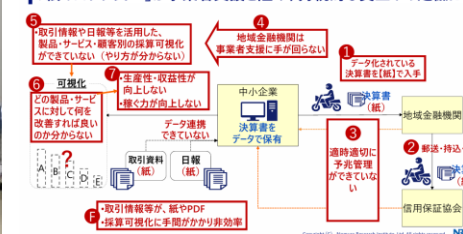
取組の成果

- 関東管内の信用金庫・信用組合の役員・DX担当者が対面・オンライン合わせて約110名参加。
- パネルディスカッションでは、**職員の意識を変えるには、経営陣による組織内への情報発信と現場レベルでの意見交換等の取組が必要**といった内容や、**DXを推進するには他機関での成功事例を共有することが肝要**といった議論がなされた。
- 自組織のデジタル化は個別最適の状況にあり、全体最適を意識しなければならないことに気づいたなどの声が寄せられ、DX推進の意識付けに寄与。



【パネルディスカッションの様子】

【「紙のバケツリレー」が事業者支援を阻み、持続的な質上げの足枷に



【講演資料（一部抜粋）】

金融犯罪被害防止のための取組

巧妙化する金融犯罪の被害を未然に防ぐため、関係機関と連携を図り、SNSや動画を用いた注意喚起など様々な啓発活動を展開。

概要

- 特殊詐欺等の金融犯罪は年々巧妙化しており、その手口等を踏まえた被害防止に努める必要がある。
- SNS等による金融犯罪の増加を踏まえ、若年層を中心に幅広い世代へ向けた注意喚起動画を作成し、啓発活動を実施。
- また、地方公共団体・消費生活支援センター・警察・金融機関等の関係機関と連携し、動画紹介や金融トラブル防止のチラシ配布など、様々な啓発活動を展開。

啓発活動で配布するチラシ(一部)



具体的な取組内容・実績

● 注意喚起動画のYouTube、SNS配信等

- 「フィッシング詐欺」など、金融犯罪の手口や騙されないための注意点を解説した動画を公式YouTubeチャンネルにて配信。また、Xにてヤミ金や高速取引行為者を詐称する者に関する注意喚起を投稿しているほか、金融トラブルに関するクイズ動画を投稿。

【YouTube動画】



【関東財務局X】



● 地方公共団体と連携した活動

- 一都三県ヤミ金融被害防止合同キャンペーン (東京)
- 投資詐欺被害防止のための金融教育 (群馬県)



【金融トラブル被害防止セミナーの様子】



投資詐欺被害防止のための金融教育

経済調査レポート

地域経済や地域活性化事例・トピックについて調査、分析。結果についてレポート形式に取り纏め、ホームページで公表。

概要

- 地域の各主体（地方公共団体、金融機関、商工会議所等の経済団体、民間企業等）へのヒアリング実施や各種情報を調査したうえで、レポート形式に取り纏め、ホームページで公表。

1. 「トキ消費」、謎解きゲーム・脱出ゲームについて

「モノ消費」「コト消費」から「トキ消費」へ

消費行動の推移は1990年代以降、商品を購入する「モノ消費」から、サービスを楽しむ「コト消費」へ変化してきたといわれています。そして近年は、その流れの頂点を押し越えてデジタルに自ら参加し、感動を共有する「トキ消費」にも注目が集まっています。

消費行動の動向によると、申し分ない参加型の体験やコンテンツへの需要は増加傾向にあり、2024年度は、1日あたり28.8%と前年比に比べて大きく伸び、若い世代を中心に「トキ消費」が好まれていることが分かります。【グラフ1】

「謎解きゲーム・脱出ゲーム」の台頭

主な「トキ消費」は体験型です。スマホやタブレットが活用される。近年、「謎解きゲーム・脱出ゲーム」はコンテンツの売上増が加速しています。

2024年に初開催された後、売上増が顕著な人気ゲーム「謎解きゲーム」は、2024年にはコロナ禍前を上回る約94%の伸び率を達成しています。【グラフ2】

「謎解きゲーム・脱出ゲーム」は、利用されたストーリーの中で、自分で手探りで答えを探る。ストーリーの楽しみ方が、体験型のコンテンツである。

地域活性化に貢献する企業を訪問
— 海ぶどうから始めるまちづくり事業 — 岩瀬薬品株式会社

海ぶどうの産地である岩瀬町。海ぶどうの産地として、地域活性化に貢献する企業を訪問しました。

岩瀬薬品株式会社は、海ぶどうの産地である岩瀬町に、海ぶどうの産地としての魅力を最大限に引き出すための取り組みを行っています。

海ぶどうの産地である岩瀬町。海ぶどうの産地としての魅力を最大限に引き出すための取り組みを行っています。

宇都宮財務事務所 経済調査レポート
「自治体の挑戦と工夫」クラウドファンディング型ふるさと納税の活用動向

ふるさと納税は、地域活性化の重要な手段として活用されています。クラウドファンディング型ふるさと納税は、自治体の挑戦と工夫の代表例です。

クラウドファンディング型ふるさと納税の活用動向は、自治体の挑戦と工夫の代表例です。

クラウドファンディング型ふるさと納税の活用動向は、自治体の挑戦と工夫の代表例です。

うどんが広げる埼玉の魅力

埼玉県は、うどんの産地として知られています。うどんの産地である埼玉県は、うどんの産地としての魅力を最大限に引き出すための取り組みを行っています。

うどんの産地である埼玉県は、うどんの産地としての魅力を最大限に引き出すための取り組みを行っています。

取組の成果

- 令和7年度のレポート一覧

テーマ	局/事務所
周遊型謎解きを通じた地域の活性化について	関東財務局
うどんが広げる埼玉の魅力	関東財務局
「自治体の挑戦と工夫」クラウドファンディング型ふるさと納税の活用動向	宇都宮財務事務所
地域活性化に貢献する企業を訪問	千葉財務事務所

- レポートが新聞記事に掲載される等、地域での注目度の高まりを受け、地域活性化ミニサロン開催等地域の関係者の意見交換の提供に繋がるケースあり。

各レポート本編は、関東財務局HPに掲載しています。令和6年度以前のレポートも掲載されていますので、ご覧ください。
<https://lfb.mof.go.jp/kantou/keizai/tyousa.htm>

財政教育プログラム

「日本の未来を考える」をテーマに、予算編成シミュレーションなど、アクティブラーニングを取り入れた講義を実施。

概要

- 日本の財政を自分たちに関わる課題として感じてもらうため、「自分の将来のために日本の未来を考える」をテーマに、**アクティブラーニング（タブレットを使用した予算編成のグループワーク）**を取り入れた授業を展開。
- 小学生～大学生までを対象に、教員等と相談しながら、**授業の進捗状況や学年レベルに合ったオーダーメイドの授業**を実施。
- 関東財務局の**職員**が講師及びアドバイザーとして授業を行い、**参加者のグループワーク・発表をサポート**。



【グループワークの様子】



【シミュレーションツール】

具体的な取組内容・実績

●グループワークの内容例

小学校高学年向け	「日本村の予算を作ろう！」 予算100万円の日本村の役員になったと仮定し、「どのようにお金を集めてどのように使えば、村の未来を良くできるか」を考え、予算を編成。
中学生以上向け	「財務大臣になって予算を作ろう！」 実際の国の予算をベースに、「日本の未来をより良くするためには社会保障や教育などをどうするべきか」を議論し、予算を編成。

●税務署・選挙管理委員会との連携

- 税務署と財務事務所による租税・財政に関する講義後、選挙管理委員会による模擬選挙を実施。



【講義の様子】



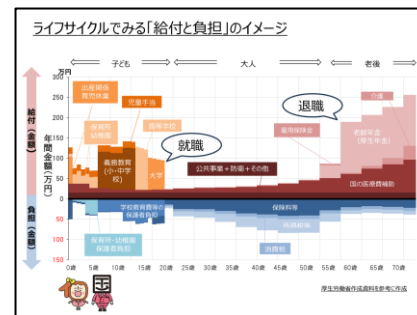
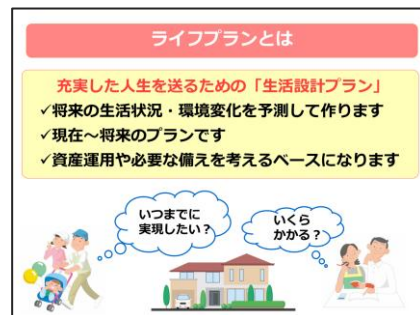
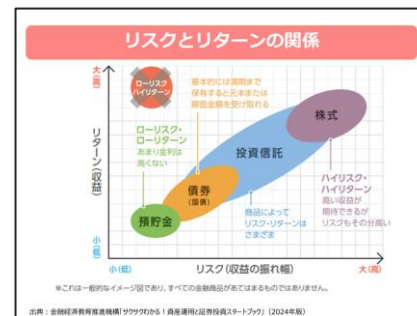
【投票体験の様子】

子育て世代向け講座

子どもと一緒に参加しやすい環境のもと、家計管理や資産形成制度等についての講座を展開。

概要

- **ライフプランの立て方**や**資産形成制度**等を紹介するマネー講座と併せ、**日本の財政の現状**や**少子高齢化**を踏まえた**社会保障の受益と負担のバランス**などの情報を提供。
- 子育て支援センターや児童館等の**子育て関連施設**や**マザーズハローワーク**などを中心に展開。



【講座資料(抜粋)】

具体的な取組内容・実績

- 講義形式のほか、**お子様を遊ばせながら話を聞ける「車座形式」**で実施するなど、**お子様連れの方にも参加しやすい環境**を設定。



【講座の様子】

参加者の声

- ・ 今後、ライフプランに必要なお金のこと、子どもができてからのことをしっかり学ぶことができた。
- ・ お金のことについて、もっと考える時間を作りたいと思った。
- ・ 具体的に必要な教育資金を知れて、勉強になった。
- ・ 資産形成以外にも国の財政についても話があり、興味がわいた。

金融リテラシーの普及・向上のための取組

金融リテラシーの向上に向け、幅広い年齢層に向けて金融経済教育の機会を提供するとともに、広報活動を実施。

概要

- 一人一人が経済的に自立し、より良い暮らしを送るためには、「金融リテラシー(お金に関する知識・判断力)」を身に付けることが重要であり、そのための教育が「金融経済教育」。
- 政府目標として、「令和10年度末を目途に「金融経済教育を受けたと認識している人の割合」が米国並みの20%となることを目指す」ことが掲げられている。
- 当局では、幅広い年齢層に向けてそれぞれのニーズに応じた講師派遣を行うなど金融経済教育の機会を提供しているほか、金融経済教育の推進に向けた広報活動等を実施。

【講師派遣の例】

・小学生向け

お小遣帳をつけながら必要なものや欲しいものを意識した買い物を行う「おこづかいすごろくゲーム」を実施。



【おこづかいすごろくゲーム】

・大学生向け

「ライフプランと家計管理」「資産形成の基礎知識」等を説明。

・シニア世代向け

「キャッシュレス決済の仕組み・注意点」や「高齢者を取り巻く金融トラブル」に関する説明を行い、注意喚起を実施。

具体的な取組内容・実績

●金融機関等との連携講座

大学等の講座において、金融機関等と連携した講座を実施。両者の強みを生かすことにより、より充実した内容の講座を提供。



【講座の様様】

●受講者のニーズや事情に合わせた講座

障害を抱える方向けなど、個別のニーズや事情に合わせた講座を実施。

- 聴覚障害を抱える方向けに、手話通訳等を導入した講座を実施。
- 障害を抱える方への訓練プログラムの一環として、当局作成の「家計すごろく」を提供。



【講座の様様】



【家計すごろく】

●J-FLEC関連の取組

中立的な立場から金融経済教育を推進するJ-FLEC(金融経済教育推進機構)の講師派遣等に関して、関係機関と連携しながら、地域の皆様にJ-FLECの活用を呼び掛ける広報活動を実施。

※J-FLEC稼働後も、引き続き当局でも講師派遣を実施。



【周知活動の様様】

将来の金融経済教育の担い手育成

学校教育における金融経済教育の中長期的な推進を図るべく、複数の大学で教育学部生を支援する機会を開拓し、令和6年度以降、継続的に実施。

概要

- 大学の授業において、**金融リテラシーの基礎知識に係る講演**を行うほか、これまで当局が実施した**小学生向け講義の様式や参加者の反応、教材等を紹介**。
- 文教大学では、昨年度より**実施回数を増やし**、当局の小学生向け講座（おこづかいすごろく）を**実際に体験する機会を創出**。



【大学での講義の様子】

【受講した学生からの声】

- すごろくのゲームは楽しく学べるので良いと思った。
- 小学生でもわかりやすい内容で、自分が教師になったらこの資料を活用したいと思った。「経済の血液」は私も知らなかったため、忘れないようにしたい。ほかにも参考になった内容がたくさんあった。

【政府方針】

政府の目標として、「令和10年度末を目途に『金融経済教育を受けたと認識している人の割合』が米国並みの20%となることを目指す」ことが掲げられています。

取組の成果

- **学生自身の人生にも、その後教員になった時の授業にも役立つ講義を継続的に実施**。
これにより、**学生自身の金融リテラシー向上に寄与したほか、将来その生徒への波及効果も見込め、政府目標の達成にも寄与**。
- 令和7年度の講座は、地元テレビ局にも取り上げられ、**財務局の取組を広く周知することができた**。



【おこづかいすごろく体験】



【受講生へのテレビ取材】

今後の展望

- 今回の実施結果を踏まえ、講座内容にアクティブラーニングを加えるなどのブラッシュアップや、**当局におけるキャラバンイベントや金融を学ぶバスツアーなどへの学生の参加等、新たな視点での連携も模索しながら、令和8年度も継続して実施予定**。

小学生向け「体験型」金融経済教育を実施 ～第7回「親子で学ぶ！お金のバスツアー」～

金融リテラシー向上に向けた取組として、造幣局、国立印刷局、J-FLEC（金融経済教育推進機構）、東京証券取引所と連携し、バスで各所を巡りお金について学ぶ体験型プログラムを実施。

概要

- 金融教育に関する国際的啓発活動「Global Money Week」の一環として、小学4・5・6年生とその保護者を対象に、お金について楽しく学ぶことができる体験型プログラム「親子で学ぶ！お金のバスツアー」を実施。
- 今回は造幣局さいたま支局を初めて行程に組み込み、J-FLECとは2回目のコラボ。
- 当日は、造幣局さいたま支局、国立印刷局東京工場、東証Arrowsの見学や、J-FLEC講師によるグループワークで会社を作ってプレゼンをする双方型の講義「お金の会社」の講座を実施し、お金の役割や歴史、正しい使い方などを学習する機会を提供。

親子で学ぶ！お金のバスツアー

「金融に関する正しい知識を身につけるとが大事！」でも、親子ではなかなか…
バスツアーで最新の金融知識を親子で楽しく学んでほしい。親子で学ぶ。

参加無料

日程 令和8年3月30日(月) 8:45～16:30頃
※バスは10:00発(貸切専用バス) ※雨天決行あり

対象 小学4年生～6年生とその保護者
※保護者1名(原則、子供1名に1名保護者1名)で参加ください

定員 17組(34名) (下記申込サイトからの事前申込制)
※申し込み定員に達し次第に締め切らせていただきます
令和8年3月6日(金)まで「お金のバスツアー」の申し込みをお願いします

受付期間 令和8年2月10日(火) 10:00～
令和8年2月24日(火) 17:00

申込サイト
<https://mf.mof.go.jp/kantou/nao/pagekhp03200055.html>

行先 造幣局さいたま支局
～工場・博物館で記念貨幣や紙幣などを見学～
西ヶ原研修合同庁舎
～お金のゲームを通して楽しく学ぶ(J-FLEC提供)～
国立印刷局東京工場
～お札の製造工程や偽造防止技術を見学～
東証Arrows(東京証券取引所)
～テレビでよく見るマーケットセンターや上場の様子を見学～

主催：関東財務局
協力：金融庁、独立行政法人国立印刷局、独立行政法人造幣局さいたま支局、J-FLEC、東京証券取引所
後援：埼玉県教育委員会

Global Money Week

開催日：令和8年3月30日(月)

集合(8:30まで)：受付手続
造幣局さいたま支局 高層ビルを俯瞰しながら
宇都宮駅～造幣局(中央東北線)【地下車 東口から徒歩約12分
東武バス(新大塚心)【スタルダム前徒歩約3分】

→造幣局さいたま支局の見学 案内：造幣局職員
「資料館の製造工程や偽造防止技術について学び！」
バス移動(約60分)

→J-FLECによる講座(お金の研修合同庁舎) 講師：J-FLEC講師
「お金のゲームを通して楽しく学ぶ！」
「講義が終わったら、お金の会社が作れるゲームをしよう」
※J-FLEC(金融経済教育推進機構)は、中立的立場から金融経済教育を推進するため、法律に基づいて設立された非営利法人です。
バス移動(約55分)

→国立印刷局東京工場の見学 案内：国立印刷局職員
「お札の製造工程や偽造防止技術について学び！」
お札の歴史や印刷技術について学び！
バス移動(約30分)

→東京証券取引所の見学 案内：東京証券取引所社員
「株式の取引が行われている様子を見よう！」
バス移動(約16:30頃)：東京証券取引所にて解散

※参加費
※参加費は全員の身分証明書(運転免許証など)を
※参加費として、予備検査や身分証明書検査を実施します
(お札、お金の写真)

※注意事項
※雨天決行あり(雨天決行の場合は、雨天決行の日の前日までに
※雨天決行の場合は、雨天決行の日の前日までに
※雨天決行の場合は、雨天決行の日の前日までに
※雨天決行の場合は、雨天決行の日の前日までに

お問い合わせ：関東財務局財政政策推進課 金融リテラシー推進
電話：048-600-1259

取組の成果

- 参加者の主な声（アンケート結果）

<小学生>

- 知らないことをたくさん知れた。お金の株式会社が一番楽しかった。
- 昔のお金が見れたり、お札の束の重さなどが体験できて楽しかった。
- テレビや新聞で見たところに行ってみたかったので、複数の施設をまわって、実際に見ることができてとても楽しかった。

<保護者>

- お金の株式会社は中身が濃く良く考えられた内容でミニMBAのようで素晴らしかった。子供たちがのびのびと発話し、進捗も順調で非常に楽しめていたと思った。
- 子供がお金について学び始めるきっかけとしてはちょうどよかった。どの施設も案内係がそれぞれユーモアがあって楽しめた。



【造幣局さいたま支局】



【J-FLEC】



【国立印刷局東京工場】



【東証Arrows】

「経済安全保障政策」を推進する取組

政府全体として経済安全保障政策を推進する中、国外への技術流出防止等を目的としたセミナーや講演を関係機関と連携して実施。

概要

- 神奈川県において、引き続き、「経済安全保障セミナー」を実施したほか、これまで開催の無かった栃木県でも実施。
- 関係機関の職員を講師として、経済安全保障の取組状況、外為法等に基づく各種制度、企業の技術流出防止に向けた諸課題や対策等について講演を実施。
- 新たに関東公安調査局等を講師に加え、内容を充実。
- このほか、関東公安調査局や各県警と連携し、各地の経済団体等の研修会や勉強会等にも講師を派遣して講演を実施。

**令和7(2025)年度
経済安全保障対応促進セミナー**

企業の危機管理意識の向上及び新たな事業展開を行うための機運醸成を図るため、経済安全保障の最新情報、技術流出防止等についてのセミナーを開催します。経済安全保障をめぐる国際動向や、我が国での取り組み等の最新情報をお届けします！
経済安全保障について、1から学びたい方、技術流出防止のためのセキュリティを強化したい方など本セミナーを受講いただき、今後の事業活動にご活用ください！

日時 2025年 **11月20日** 木 **13:00-16:00**

場所 栃木県庁 6 階大会議室1 (宇都宮市塩田1-1-20)
※オンライン (Microsoft Teams) 同時配信

第1部	13:15~13:45 「 経済安全保障について(仮) 」 講師:内閣府 政策統括官(経済安全保障担当) 付主査 鈴木 伶偉
第2部	13:45~14:15 「 対内直接投資審査制度について 」 講師:財務省 国際調査課投資企画審査室 投資分析第三係長 小林 大介
第3部	14:25~14:55 「 経済安全保障の確保に向けて 技術・データ・製品等の流出防止 」 講師:公安調査庁 関東公安調査局調査第二部 首席調査官 南岡 真吾
第4部	14:55~15:25 「 米中の輸出管理や関税について(仮) 」 講師:日本貿易振興機構 調査部国際経済課 馬場 安里紗
第5部	15:25~15:55 「 先端技術情報の流出防止について(仮) 」 講師:栃木県警察本部 警備部警備第一課

取組の成果

- 参加者数 (企業をはじめ、大学・研究機関等から多数参加。)
栃木：約130名 (リモート含む)
神奈川：約50名
各地での講演：13か所

【参加者の声】

- ✓ 経済安全保障という緊急を要するテーマに対して充実した内容。
- ✓ 経済安保の全体像が改めて整理できた。



【経済安全保障セミナーの様子】

○今後の取組

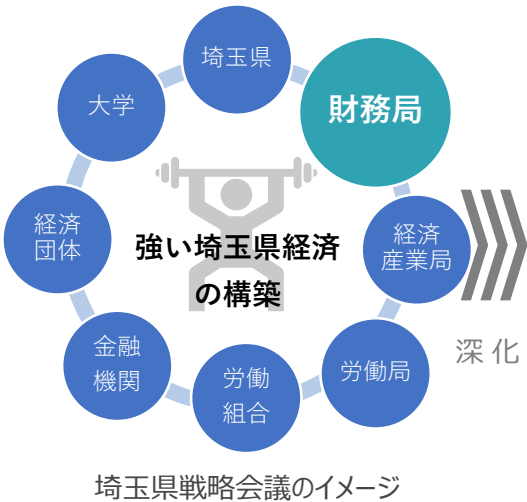
経済安全保障は様々な領域で課題が顕在化しているものの、現状では国の制度等を知らない企業等が多く、その周知は極めて重要であることから、今後も関係機関等と連携を強化しながら周知に取り組んでいく。

関係機関と連携した地域企業の人材課題解決に向けた取組

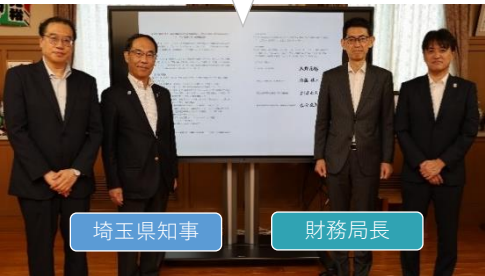
地域企業の人材課題解決に向けて埼玉県、関東経済産業局及び埼玉労働局と「シニア人材活用に関する連携協定」を締結。その一環として地域企業の人材課題解決に向けた「埼玉県版新現役交流会」を開催。

概要

- 埼玉県内の産学官金労の関係者が連携する「強い経済の構築に向けた埼玉県戦略会議」に参画し、人材課題解決に向けて議論。
- 関東財務局は、経済調査で把握した人手不足に関する企業の声や、地域金融機関向け人材関連施策活用セミナー等の情報を提供し、埼玉県の取組を後押ししてきたところ。
- 加えて、更なる連携強化として、埼玉県、関東経済産業局及び埼玉労働局と「埼玉県内の中小企業の課題解決に向けたシニア人材活用に関する連携協定」を締結し、取組を深化。



1. 社会で活躍し続ける意欲とスキル・ノウハウを持つシニア人材への支援
2. シニア人材により経営課題の解決を図ろうとする県内中小企業への支援
3. シニア人材と県内中小企業とのマッチング など

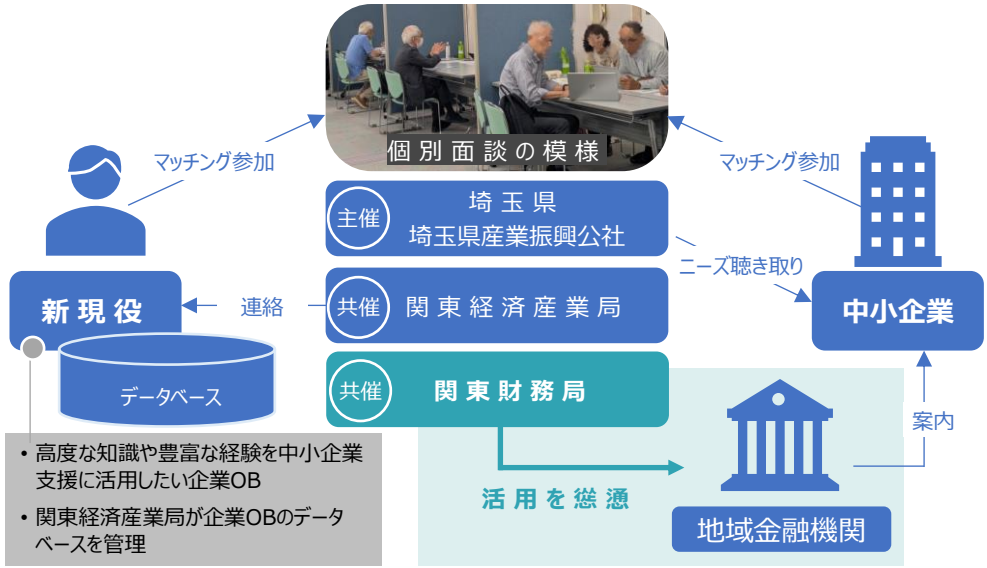


連携協定締結式の様子(令和7年9月)

取組の成果

- 連携協定に基づき、知恵を出し合いながら、関東経済産業局の支援策である「新現役交流会」を開催。関東財務局から、地域企業の課題を把握している地域金融機関に対し、活用を促した。
- 新現役交流会に参加した県内中小企業では、「求める人材像」と「シニア人材の強み」が一致し、採用に至るケースも見られた。

埼玉県版新現役交流会の概要

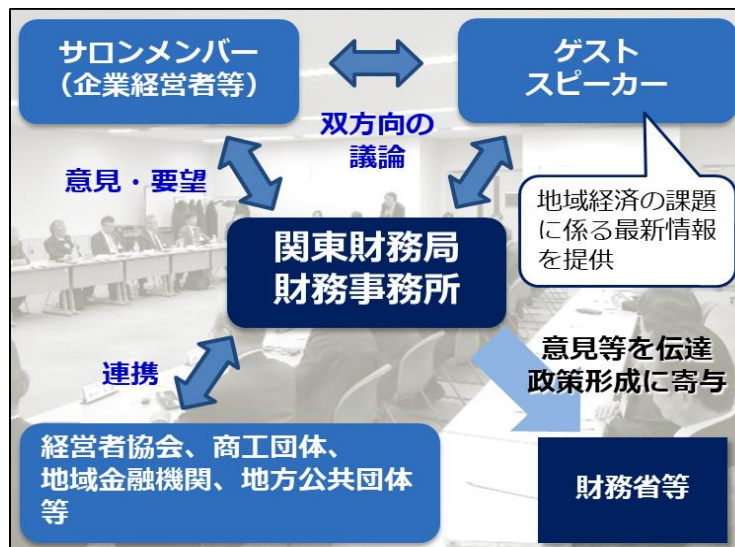


地域活性化サロンの開催

地域経済の中長期的課題について情報・意見交換を行う「地域活性化サロン」を管内各地域で開催。

概要

- 地域のオピニオンリーダーである企業経営者や有識者と共に、地域経済の中長期的な課題について自由闊達な情報・意見交換を行う「**地域活性化サロン**」を、平成26年より継続的に開催。
- 本局及び管内の各財務事務所において、各地域の実情・ニーズを踏まえたテーマを設定。テーマに沿った講演者を招聘し、講演を実施。その後、参加者間でテーマに基づく意見交換を行うもの。
- 意見・要望は、今後の政策形成の参考とする。



具体的な取組内容・実績

● 令和7年度の開催テーマ

局／事務所	テーマ
関東財務局	<ul style="list-style-type: none"> ・企業の持続的な成長について ～年輪経営から学ぶ「いい会社」～ ・RX（地域変革）企業の挑戦 ～地域での事業成長と人材登用・育成について～
宇都宮財務事務所	<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化社会における地方都市のまちづくりについて ～スマート+コンパクトシティの取組み～
千葉財務事務所	<ul style="list-style-type: none"> ・気候変動時代の気象防災対策 ・成田空港の機能強化と地域経済等への波及効果について ～関係者が取り組むべき課題～
東京財務事務所	<ul style="list-style-type: none"> ・DXと会計を掛け合わせる効果 ・信用金庫・信用組合におけるDXの取組について
横浜財務事務所	<ul style="list-style-type: none"> ・人手不足を乗り越える企業の戦略と実践事例
新潟財務事務所	<ul style="list-style-type: none"> ・これからの人材マネジメント
甲府財務事務所	<ul style="list-style-type: none"> ・企業の人材確保と人材定着について

富士見市若手職員研修への当局職員の派遣

埼玉県富士見市が人材育成を目的として若手職員を対象に実施している課題研究活動に、令和2年度より継続して関東財務局の若手職員を派遣。

概要

経緯

富士見市長との対話を契機に、同市長が職員の人材育成に熱心に取り組んでいること、また、財務局職員の参加により国からも参考となる情報が得られ、様々な視点からの活発な議論・検討が期待できる、とのことから実現。令和2年度より継続的に実施。

活動内容

「富士見市をより良くするため」をテーマに、同市と当局職員計19名が2グループに分かれ、具体的方策を検討。半年間に亘り、毎月1~2回実施するグループ活動において討議を重ね、研究成果を令和8年1月に市長・関東財務局長等幹部に発表。



▲グループ活動の様子

取組の成果

課題研究テーマ

グループ	課題研究・発表テーマ
Aグループ	地域みんなで防災～防災につよい富士見市に～
Bグループ	職員が働きやすい街 in 富士見市



【発表会の様子】

市長等幹部からのフィードバック

- 関東財務局での好事例を参考にする等、課題研究での交流によるメリットが活かされていて良かった。

空き家・空き店舗対策に係る事例共有会

多くの地域で共通の課題となっている空き家・空き店舗対策について、関東経済産業局と連携し、特徴的な取組を行う地方公共団体の事例や国の施策等の紹介を実施。

概要

- 人口減少や少子高齢化を背景に、空き家・空き店舗は増加傾向にあり、社会的問題となっている。
- こうした状況を踏まえ、関東経済産業局と連携し、空き家・空き店舗対策において特徴的な取組を行っている地方公共団体、金融機関、商工団体等の事例を紹介する事例共有会を開催。
- 事例共有会では、日本大学危機管理学部による研究発表、関東経済産業局及び関東地方整備局から国の施策紹介等のほか、対面参加者によるグループワークも実施。

【開催日】

令和8年2月19日（木）

【開催形式】

対面（さいたま新都心合同庁舎）及びWEB配信

【登壇者】

茨城県龍ケ崎市、埼玉県草加市、栃木県宇都宮市、山梨県韮崎市商工会、埼玉県信用金庫、千葉県信用保証協会、日本大学危機管理学部

取組の成果

- 関東管内を中心に地方公共団体、商工団体、金融機関等から約60名が参加。
- 地域の垣根を越えて産・官・学・金が集い、活発な意見交換を通じて互いの知見を深める場を提供することができた。

（参加者からの声）

- ・沢山ヒントをいただけたので、関係各所と連携を取りながら行動を起こしていきたい。
- ・金融機関、国を含めてのグループワークとなり、それぞれの視点での意見を聞くことができ、非常に有意義であった。



【事例紹介の様子】



【グループワークの様子】

自動車サプライヤー支援に向けた勉強会

群馬県の基幹産業の一つである自動車産業が変革期にある中、県内自動車サプライヤーを支援すべく、金融機関など関係者間での情報交換等を行うための勉強会を開催。

概要

- 自動車産業において、電動化に向けた動きや国際情勢などの様々な要因により目まぐるしく環境が変化している中、取り巻く経営環境の厳しさが増している県内自動車サプライヤーを支援すべく、官民金融機関や支援機関などの関係者間での情報交換や、サプライヤー企業への情報提供等を行うための勉強会を群馬県と共催で開催したもの。

第1回・第2回（令和6年6月・7年2月開催）

- ✓ 金融機関や支援機関等の中で情報の共有を図るとともに、諸課題に対応するための連携体制構築を目的として、完成車メーカーや他県からの講師を迎え開催。

第3回（令和8年2月開催）

- ✓ これまでの勉強会において、金融機関・支援機関等の中で一定の連携を深めることができたことを踏まえ、勉強会の裾野を広げるべく、自動車アナリスト等を講師に迎え、県内サプライヤー企業を対象に開催。

取組の成果

- 県内の関係者が一堂に会する機会を作り、参加者間で「顔が見える関係」を構築。
- 地域の基幹産業である自動車産業を、事業者に身近な立場にある金融機関・支援機関や、国、県などで一体となって支援をしていく機運の醸成に寄与。

参加者の声

- ✓ 自動車産業の現状・今後の動向や、他の金融機関等の支援に係る取組を知ることができて参考となった。
- ✓ 他県の先進的な取組を踏まえ、群馬県でも同様の取組が検討できないか、産学官金で連携していきたい。



【勉強会の様子】

経済財政に関する山梨コンファレンス

地域経済の活性化に寄与する「先進的」あるいは「特徴ある」取組事例を大学研究者や企業等が発表し、有識者による公開討論を実施。

概要

- 甲府財務事務所の主催（共催：地元大学・シンクタンク・商工会議所）により平成22年度から取組を継続。
- 財務事務所が行政・大学・経済団体・地元企業・金融機関など県内のステークホルダーを結びつける“ハブ”としての機能を発揮することで「産・学・官・金」によるプラットフォームを構築。

【開催日】

令和7年5月30日(金)

【開催テーマ】

第13回は、「デザイン思考で豊かな山梨を創生する」をテーマに開催。イノベーションの誘発や問題解決のアプローチとして活用されている「デザイン思考」について、大学研究者や企業等が取組事例等を発表。また、パネルディスカッションではデザイン思考の可能性について意見交換を実施。

【共催（第13回）】

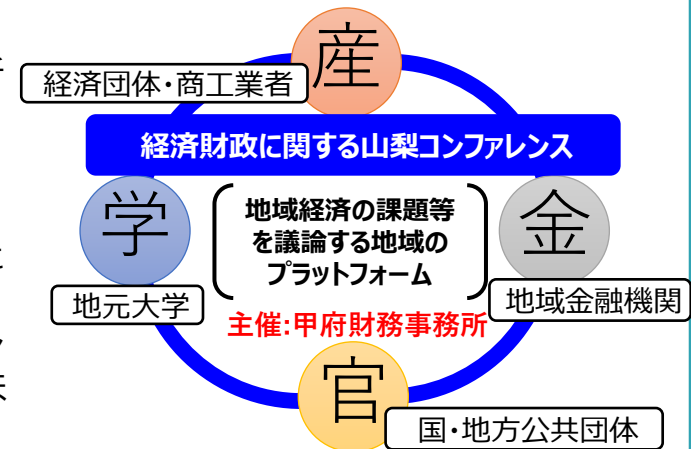
山梨大学、山梨県立大学、山梨学院大学、(公財)山梨総合研究所、甲府商工会議所、山梨県

取組の成果

- 行政機関、大学、経済団体、地元企業、金融機関など広範な分野からの参加者が山梨県経済の課題等について議論することで地域経済の活性化に寄与。

○参加者の声

「地域課題に対する新たな視点やアプローチにつながる内容で、とても参考になった。」
 「地域活性化に向けたエコシステムを構築していくため、今後もコンファレンスを継続してほしい。」など



【会場の様子】

長野県中小企業家同友会・金融機関連携協議会の取組

長野財務事務所と長野県中小企業家同友会の連携により、中小企業、地域金融機関等、経営支援機関等で構成する連携協議会を継続的に開催。

概要

- 長野県の中小企業と地域金融機関等の相互理解・共創を促進するため、令和2年11月から「長野県中小企業家同友会・金融機関連携協議会」を継続的に開催。

＜令和7年度開催実績（講演テーマ）＞

第15回 令和7年4月4日
 ・「事業性融資推進法について」
 ・「経営指針（理念・10年ビジョン・方針・計画）を作成・実践して」

第16回 同年6月25日
 ・「経済安全保障について」
 ・「経済安全保障の確保に向けて～技術・データ・製品等の流出防止～」
 ・「これからの連携協議会」

第17回 同年12月18日
 ・「長野県産業振興機構の経営支援策について」
 ・「金融行政方針について」

- 直近12月開催では対面・オンラインで6グループ総勢38名が参加。引き続き関係強化を促進。

取組の成果

- 令和7年度は3回開催。いずれの回も中小企業（長野県中小企業家同友会会員企業）、長野県内金融機関、経営支援機関等が参加した。
- 直近12月は当局から金融行政方針を説明し「地域金融力」の強化に向けた動きを、長野県産業振興機構から企業価値向上につながる産業支援メニューを説明。「金利のある時代」となり、借りる側・貸す側による相互理解がこれまで以上に重要となるなか、自由闊達な意見交換が行われた。
- 参加者から「企業、金融機関、支援機関それぞれの現場の声を聞くことができる場は大変貴重」との声が聞かれるなど、参加者における一層の相互理解や関係強化に寄与。



【講演の様子】



【意見交換の様子】

ご案内

関東財務局の地域連携の取組

地域連携の取組は、本事例集のほか、ホームページや公式SNSアカウントにも随時掲載しています。



【↑地域連携の取組をご紹介する広報誌】



【公式SNSで取組をご紹介→】

関東財務局ホームページ・公式SNSアカウント

関東財務局
ホームページ



X
@MOF_LFB_KANTO



X (地域連携・広報)
@MOF_LFB_KANTO_C



Instagram



Facebook



YouTube

